



CSR 報告書 第三者検証報告書

2009年11月30日

三洋商事株式会社

代表取締役社長

上田 博康 様

株式会社日本環境認証機構

代表取締役社長

下井泰典

この検証報告書は、三洋商事株式会社(以下、三洋商事)が自らの責任において作成した「CSR 報告書2009」(以下、報告書)を第三者である株式会社日本環境認証機構(以下、JACO)が重要性、網羅性、対応性および信憑性を検証した結果について、見解を記述したものです。

尚、検証は AA1000 保証基準(英国 AccountAbility 策定)を参考としました。

1. 検証期間

平成 21 年 11 月 20 日～平成 21 年 11 月 27 日

2. 検証範囲

1) 本社(CSR 推進グループ)、2) 第二ヤード

3. 結論

本報告書は廃棄物処理業、特にリサイクルスクラップの回収を中心とした三洋商事の事業特性を踏まえ、AA1000 保証基準(重要性、網羅性、対応性)と信憑性について以下の通り適切であることを確認しました。

3. 1 「重要性」に関する情報開示

本来業務である廃棄物処理に関するデータおよび運搬車、解体処理のための重機の燃料、電力量およびそれらの CO₂ の排出量に関する主要な情報は適切に開示されています。また、三洋商事の主要な経営理念の一つである雇用の多様性、特に障害者雇用、受刑者への業務委託に関する情報、労働環境の整備、教育訓練、地域住民とのコミュニケーションおよび売上高・経常利益等財務情報などステークホルダーの判断、意思決定に必要である重要な情報が適切に開示されていることを確認しました。

3. 2 「網羅性」に関する情報開示

「環境」、「社会」、「経済」の各分野においてそれぞれの記載情報について GRI ガイドライン※の推奨項目と照合した結果、広く、簡潔に記載されていることを確認しました。

※グローバル・リポーティング・イニシアティブ(GRI)

3. 3 「対応性」に関する情報開示

地球温暖化対策の重要性が増す中での CO₂ 削減活動、循環型社会形成のための資源リサイクル事業の推進および社会的にハンディキャップのある障害者、受刑者の自立に向けた雇用の確保等常日頃から社会的課題、ニーズを適切にとらえ、対応していることを確認しました。

3. 4 記載情報の「信憑性」

特に、定量データについて、データの発生から収集、集計、チェック、報告、掲載までの一連のプロセスについて、証拠の確認、ヒアリングの結果、記載の通りであることを確認しました。また、順法については 2008 年度において 3 件の駐車違反がありましたでしたが適切な対応がとられていることを確認しました。

(確認を行ったデータ等については検証ロゴマーク JACO を付記)

【検証の独立性、客観性】

三洋商事と JACO は特定の利害関係がなく、独立した立場で検証を行いました。